



車載型  
LTEトランシーバー

# IP500M

IP54

RoHS指令対応

## 日本全国が通話圏内<sup>※1</sup>。 LTEトランシーバーの車載モデル、新登場。

IP500Mは、無線機の同報性はそのままに、auのLTE回線を経由することで、日本全国を通話範囲<sup>※1</sup>にするトランシーバーです。通話相手を限定して効率よく情報共有できるグループ通話・個別通話にも対応しているほか、人数数による同時送受信に対応。ほかの送信者の通話終了を待たずに、優先順位の高い情報を割り込んで伝え、すばやく全員で共有できます。

また、GPS機能を装備しており、端末の位置情報をPC上に表示させることもできます<sup>※2</sup>。さらに、データ通信にも対応。別売のゲートウェイユニットIP500Gをシステムに導入することで、ハンディターミナルなどで読み取った情報を、IP500MのLANポートや内蔵する無線LANアクセスポイントを経由して、音声だけでない情報をタイムリーに伝達できます。業務ユースに相応しいタフさも特長です。埃や水しぶきも気にせず使えるIP54<sup>※3</sup>の防塵・防水仕様としたほか、アルミダイキャスト製のシャーシを採用して堅牢性を担保しています。回線利用料は、どれだけ利用しても月額定額制。音声通信のみを想定した128kbpsプラン、データ送受信にも対応できる512kbpsプランを用意していますので、用途に合わせてお選びいただけます。

### 〈おもな特長〉

- auの4G LTE(800MHz)回線を利用する、日本全国が通信範囲<sup>※1</sup>の車載型無線機。
- LANポート・無線LANアクセスポイントを搭載し、データ伝送にも対応<sup>※4</sup>。
- 免許・申請手続き、無線従事者資格が不要。月額定額で使い放題。
- 同時通話・多重通話に対応。全体・個別・特定グループなど、目的に応じて通話先も選択可能。
- 端末の位置を地図上に表示<sup>※2</sup>したり、従来の無線機との連携を可能にする機能拡張に対応。

※1 auの4G LTE(800MHz)の電波到達範囲が通話エリアとなります。 ※2 IP500Gに標準付属のソフトウェアをPCにインストールして使用。対応地図ソフトが別途必要。  
※3 試験用粉塵を1㎡あたり2kgの割合で浮遊させた中に8時間放置したのちに取り出して、無線機として機能することです。また、いかなる方向からの水の飛まつを受けても有害な影響のないことです。 ※4 別売のIP500Gをシステムに導入する必要があります。

アイコム株式会社 547-0003 大阪市平野区加美南1丁目1-32 [www.icom.co.jp](http://www.icom.co.jp)

IP500Mのおもな特長

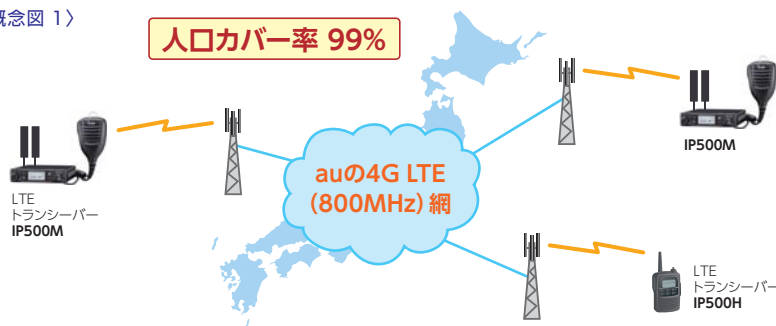
人口カバー率99%<sup>\*1</sup>の  
auの4G LTE (800MHz)  
回線で日本全国をカバー

人口カバー率99%<sup>\*1</sup>のauの4G LTE (800MHz)の回線を使用しているため、日本全国<sup>\*2</sup>が通話圏内。従来のトランシーバーのように、通話距離の制約や不感地帯を気にせず、タイムリーな情報伝達を実現します。携帯型LTEトランシーバーのIP500Hとも相互運用が可能です。

<sup>\*1</sup> 「人口カバー率」は国勢調査に用いられる約500m区画において、50%以上の場所で通信可能なエリアを基に算出しています。

<sup>\*2</sup> auの4G LTE (800MHz)の電波到達範囲が通話エリアになります。

〈概念図 1〉



免許や申請手続き、  
無線従事者資格が不要

携帯電話と同じように、すぐに、だれでも手軽に使うことができます。利用者は、無線局免許の申請や取得が不要。無線従事者資格も必要ありません。

同時通話・多重通信に対応

多くのトランシーバーは、相手の話し終わりを待ってから交互に通信しなければならないため、通話に大きなタイムラグが生じます。IP500Mのシステムは、同時通話に対応。携帯電話と同じように、お互いが同時に話せるので、自然なやりとりが可能です。また、多人数による多重通信もサポートしており、電話会議のような使い方も対応できるほか、他のスタッフ同士の会話に重要な連絡を割り込んで伝えることもできます。

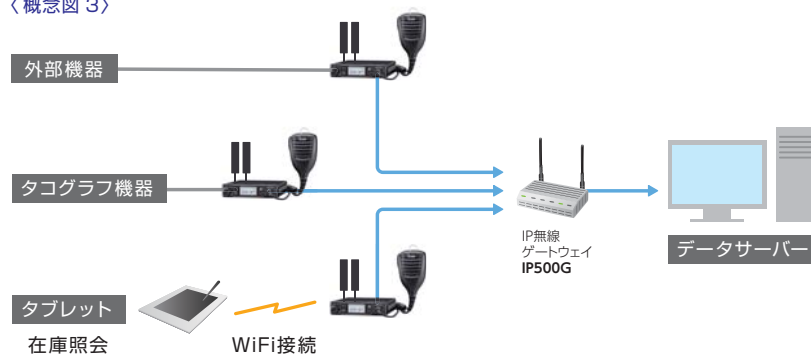
〈概念図 2〉



データ通信に対応

ハンディターミナルで読み取った情報や、タコグラフ機器などのデータ伝送に対応。機器との接続は、LANポートや内蔵する無線LANアクセスポイントを使用するため、高い汎用性をもちます。データ通信と音声通信の伝送システムをIP ADVANCED RADIO SYSTEMで統合することで、運用の負担やランニングコストの低減を図れます。

〈概念図 3〉



## IP500Mのおもな特長

### 多彩な機能拡張が可能

IP500Mの通信システムに、別売のIP無線ゲートウェイIP500Gを組み込むことで、さらに多彩な機能を実装できます。

#### 【 GPSデータの表示 】

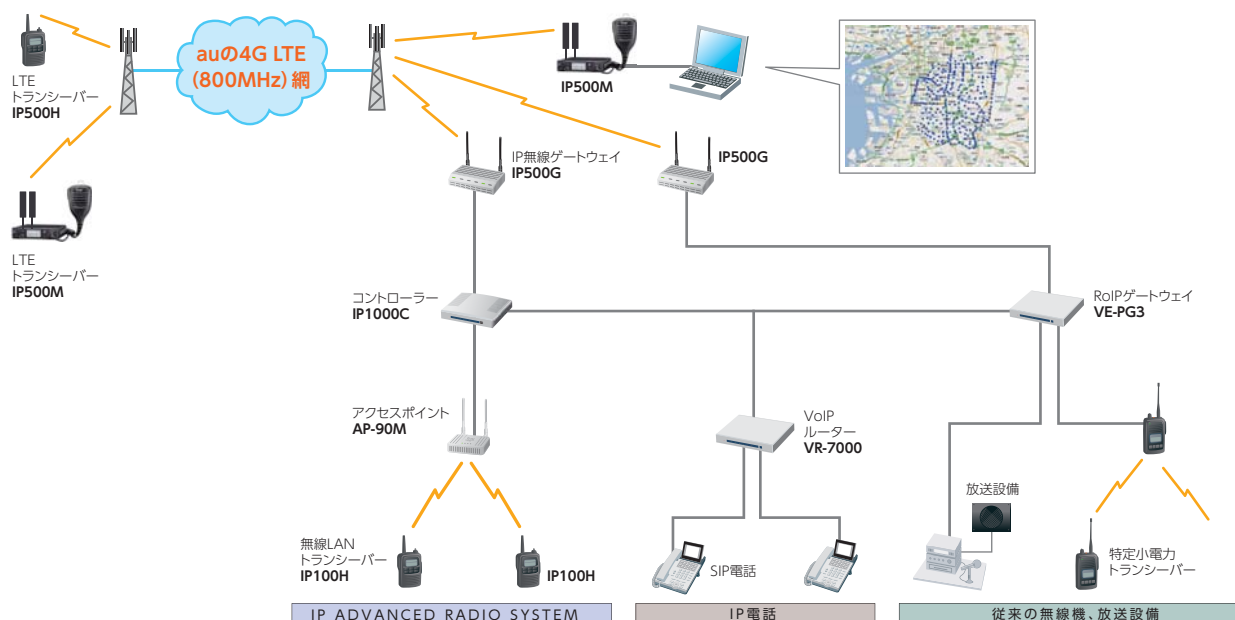
IP無線ゲートウェイIP500Gには、IP500MのGPS情報を閲覧できるソフトを標準付属。PC端末の地図上にIP500Mの位置を表示し、直感的な端末位置情報把握が可能になります。<sup>\*1</sup>

#### 【 従来の無線機やIP電話網 (RoIP網) との連携 】

さらに、通信拡張ユニットVE-PG3を導入することで、特定小電力トランシーバーやIP電話との連携も実現できます。たとえば、建物内はこれまでのトランシーバーを使いながら、外を回るスタッフの車にはIP500Mを装備するなど、これまでのトランシーバーも活かして広範囲の通信をカバーする通話システムを構築することも可能です。

<sup>\*1</sup> 別途、対応地図ソフトが必要。昭文社スーパーマッブル・デジタル15/16 全国版を推奨 (2016年3月現在)

〈概念図 3〉



### 多彩な通話形態に対応

全体通話はもちろん、個別通話、グループ通話に対応。グループ通話は、1台の端末を複数のグループに所属させることができるので、フレキシブルな運用が可能です。

### IP54<sup>\*</sup>の防塵・防水性能

埃や水しぶきも気にせず使えるIP54<sup>\*</sup>の防塵・防水性能を備えています。

<sup>\*</sup>試験用粉塵を1㎡あたり2kgの割合で浮遊させた中に8時間放置したのちに取り出して、無線機として機能することです。また、いかなる方向からの水の飛まつを受けても有害な影響のないことです。

### その他の特長

- プリセットの文字情報を送信
- 緊急地震速報の受信に対応
- ソフトウェア更新や端末設定を回線経由で一括設定 など

## IP500Mのおもなオプション

### ■ マイク&スピーカー

- ★HM-204 防水スピーカーマイク
- HM-227 コマンドマイク® (発売予定)
- SM-28 スタンドマイクロホン
- AM-5 マイクロホン
- SP-30 スピーカー
- SP-35 スピーカー

### ■ ケーブル

- OPC-647 マイクロホン延長ケーブル (2.5m)
- OPC-2355 モジュラープラグ (防水タイプ)

### ■ その他

- PS-230A 卓上電源
- OPC-2330 マイク分岐BOX

★… 付属品      ●… 新規オプション



## IP500Mのおもな定格

### 〈一般仕様〉

- 電源 : 13.8V/26.4V(±10%)
- 使用温度範囲 : -10℃~+60℃
- 湿度 : 25~85%以下(ただし、結露なきこと)
- 外形寸法 : 125(W)×156(D)×29(H)mm
- 重量 : 約870g(本体のみ)
- 音声出力 : 4W 以上(外部スピーカー 4Ω 10%歪時)

### 〈LTE インターフェース〉

- 送受信使用周波数 : 815MHz~875MHz(GPS 受信: 1575.42MHz±2MHz)

### 〈有線LANインターフェース〉

- インターフェース : RJ-45 型コネクタ ×1  
10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 準拠  
MDI/MDI-X 自動識別
- 通信速度(理論値) : 10Mbps/100Mbps/1000Mbps

### 〈無線LANインターフェース〉

- 準拠規格 : IEEE802.11n/11a/11b/11g
- 通信速度(理論値) : 11Mbps(802.11b)/54Mbps(802.11a/g)/150Mbps(802.11n)

- USBホストインターフェース : USB(タイプA コネクタ)×1(USB2.0/1.1)
- 外部スピーカージャック : φ3.5mm/4Ω/モノラル
- 外部機器接続コネクタ : マイク分岐 BOX(OPC-2330)接続用
- アンテナコネクタ : SMA型(LTE アンテナ×2)
- ユーザーインターフェース : LED ランプ(TX/RX、MSG)、LCD

### 【無線LANIについてのご注意】

- ◆本製品の5GHz帯無線LANIは、屋内使用に限定されています。DFS機能によりレーダーの電波を検出した場合、通話を継続するため、5.2GHz帯(屋内限定使用)のチャンネルに変更されます。5.6GHz帯の場合でも、屋外では使用しないでください。
- ◆自動車内は屋外となりますので、5GHz帯を使用できません。自動車内で無線LAN機能を利用する場合は、2.4GHz帯を使用してください。
- アイコム株式会社、アイコム、ICOMロゴ、コマンドマイクは、アイコム株式会社の登録商標です。